

杉山啓子（すぎやまけいこ）



<経歴>

女子美術短期大学グラフィックデザイン科卒業後、広告制作会社勤務。93年ロイヤルカレッジオブアート（イギリス）イラストレーション科にて、主にエッチングを学ぶ。

<主な個展>

- 1991 ガレリアパフ／神奈川
- 1993 コバヤシ画廊／東京、デビットホックニーギャラリー／イギリス、ガレリアパフ／神奈川
- 1998 レッドミルギャラリー／アメリカ、コバヤシ画廊／東京
- 2000 マキイマサルファインアート／東京
- 2001 INAXギャラリー／東京、ギャラリーY&Y／東京
- 2002／2003 Zaギャラリー文京、有明／東京
- 2003 日仏会館エントランスホール／東京
- 2004 Zaギャラリー有明／東京
- 2005 PIGA画廊／東京
- 2006 メタルアートミュージアム光の谷／千葉、ギャラリーコピス／東京

<主なグループ展>

- 1992 ヘンリームーアギャラリー／イギリス、麻布工芸館／東京
- 1994 京二画廊／東京
- 1995 EC2ギャラリー／イギリス
- 1996／1996／1998 コンコースギャラリー／イギリス
- 1996／1997／1998 バービカンセンター／イギリス
- 1996 ハリエットグリーンギャラリー／イギリス、アートコノソワーギャラリー／イギリス、目黒区美術館／東京
- 1996／1997／1998／2000／2003 コバヤシ画廊／東京
- 1997 リバーサイドスタジオ／イギリス、アトリウムギャラリー／イギリス
- 1998 モールギャラリー／イギリス、ピッツハンガーギャラリー／イギリス、スイートブライアーズカレッジ／アメリカ
- 1999 ミニプリントインターナショナルカダケス／スペイン、イギリス他
- 2000 トリエンナーレマイダネク／ポーランド
- 2002 星ヶ岡アートウイレッジ／高知、Zaギャラリー文京、有明／東京、CWAJ現代版画展／東京、うしく現代美術展／茨城
- 2003 Zaギャラリー文京、有明／東京、取手アートプロジェクトオープンスタジオ白山商店街参加
- 2004 ギャラリーコピス／東京、Zaギャラリー文京、有明／東京
- 2005 アートギャラリーきらり／茨城、上野駅Breakステーションギャラリー／東京

<受賞歴、パブリックコレクション>

- 1995 デルフィナスタジオトラスト海外アーティストスカラシップ（ロンドン／イギリス）
- 1998 バーモントスタジオセンターフリーマンフェローシップ（バーモント／アメリカ）

静岡県立がんセンター（三島／静岡）、公立学校共済組合中国中央病院（福山／広島）
公立豊岡病院（豊岡／岐阜）山口県済生会下関総合病院（下関／山口）

発行：TAP2006実施本部

〒302-0004 茨城県取手市取手 3-4-11 カタクラショッピングプラザ5階

TEL/FAX:0297-72-0177 e-mail: tap-info@ima.fa.geidai.ac.jp http://www.toride-ap.gr.jp

TAP2006サテライトギャラリー

主催：取手アートプロジェクト実行委員会 助成：文部科学省「現代的教育ニーズ」取組支援プログラム 協力：カタクラショッピングプラザ

TAP2006 Satellite Gallery

取手アートプロジェクト2006
サテライトギャラリー

杉山啓子

Keiko Sugiyama

「red dress」

2006.6.1(木)。搬入・展示の日。11:00a.m.ちょっと過ぎに、徒歩で現場へ。洋裁用の「人体」は、数日前に運び済み。当日はいつもながらコンパクトにまとまるエッチングを下げに到着。あまりの身軽さに驚かれる。和紙だからね。約6m×7mの広さ。天井高さ2m75cmは、高めでうれしい。ギャラリー真ん中に、ボディーをおく。身長を170cm強に調節。上から85・60・85のスリムな理想型。はじめに胸と背中のアキ具合を決めて、貼り付け開始。1枚1枚慎重に位置決めをする。会期中にはがれない様、接着剤の量を加減しながら…。神経が張りつめる。1:00p.m.助っ人到着。「背中から殺気が出てたよ。」といわれる。彼女には2002年から初めたdress seriesの展示に協力してもらっている。2人掛かりで黙々と花を着せつけてゆく。裾のふくらみを、梱包剤で型づくりながら整えてゆく。裾まわしをどう開いてゆくかの段になると、我然おもしろさに夢中になる、余裕が出て来た。

布張りの天井からの光が、自然光の様でやさしい。

気分や体力、季節や時間帯によっても、その日出来上がる作品のカタチは、予想しにくい。アタマで考えた通りにはならない。スタジオでいくら予行演習をしても、その場でどンドン決まってゆくのが、インスタレーションのおもしろい所。こわい所でも、ある。床をはいながら、裾の流し方を、あれこれやってみる。一番シンプルで丸いかたちになった。5時間をちょっと過ぎて設営完了。

6.2(金)オープニング当日。4:00p.m.過ぎに会場へ向かう。まずは、1枚もはがれておらず、安心。スタッフとアーティストトークの打ち合わせ。人前で話すのと文章で作品を伝えるのは、困難を極める。毎回逃げ出したくなる程困ってしまう。インタビュー形式で進めてくれるとのことで、ほっとする。100枚を超える赤いドレスの円形に沿って、集まってくれた人達が、立ち並んでくれたのが、只、ただ、印象的でうれしかった。

2006年6月2日～6月25日